調査項目E　　製造原価及び構成価格

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、調査対象期間（2024年1月1日から2024年12月31日まで）において、貴社の調査対象貨物の生産費に、国内向け同種の貨物又は第三国向け同種の貨物に係る通常の利潤並びに管理費、販売経費及び一般的な経費の額を加えた価格について、具体的な情報を求めるものです。 * 本調査項目は、「E-1　一般的事項」、「E-2　製造原価の概要」、「E-3　製造原価・費用」及び「E-4　単位当たりの投入量」から構成されています。 * 本調査項目において、「溶融亜鉛めっき鋼」とは、調査対象貨物、国内向け同種の貨物及び第三国向け同種の貨物の3つの総称とします。 * 回答作成に当たっては、現在ではなく、調査対象期間当時の事実に基づいて記載してください。また、調査対象期間中において変遷があるものについては、併せてその内容を時系列で詳細に回答してください。 * 回答は、各質問事項の下段に設けた回答欄に回答してください。回答欄は必要に応じて拡大してください。 * 「E-3　製造原価・費用」では各質問項目への回答に加え、**様式E**へ記入してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出してください（日本語訳を添付）。また、その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答に係る根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 * 原則として、特段の指示がない限り、数量の回答に当たってはkg単位、金額の回答に当たっては自国の現地通貨単位（KRW単位又はCNY単位）で回答してください。（特段の指示がある場合を除き、トン単位、千CNY単位等は使用しないでください。） |

# 一般的事項

## 製造工程

### 溶融亜鉛めっき鋼の製造工程（複数品種を生産しており、当該品種ごとに製造工程が異なる場合には、それぞれの製造工程）を製造物の違いによる部分的な工程の差異も含め、詳細に説明してください。原材料としてどの段階で何が投入され、何が中間的に生成されるか（廃棄又はリサイクルされる物品を含む。）、各製造工程で用いられるエネルギーのタイプ、各工程の所要時間等が分かるフローチャートを**添付資料E-1-1-1**として提出してください。

|  |
| --- |
|  |

### 調査対象貨物の各主要工程における平均的な所要時間及び工程前後の仕掛品の特徴並びに各工程における受払の管理方法を記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 主要工程 | 平均所要時間 | 工程前後の仕掛品の特徴 | 受払の管理方法 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

### 製造ラインごとに調査対象貨物、国内向け同種の貨物及び第三国向け同種の貨物の別及び生産能力を記載してください。なお、生産能力については、A-1-6の①から③までを前提として、算出してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 製造ライン名称  （所在地が異なる場合は工場名等を併記のこと） | 調査対象貨物／国内向け同種の貨物／第三国向け同種の貨物の別 | 生産能力  （kg/年） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

### 溶融亜鉛めっき鋼の製造設備と同一の製造設備を使用して、溶融亜鉛めっき鋼以外の他の貨物も製造していましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 他の貨物も製造していた |  | 他の貨物は製造していない→E-1-1-5 へ |

　　　　↓

#### 同一の製造設備から他の貨物も製造された場合は、当該製造設備の名称、製造ラインの名称、当該製造設備を使用する調査対象貨物、国内向け同種の貨物又は第三国向け同種の貨物の工程並びに製造される貨物の品種及び他の貨物の名称及びこれらの貨物の特徴（形状、材料、サイズ等）等について説明してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 製造設備の名称 | 製造ラインの名称 | 工程 | 調査対象貨物／国内向け同種の貨物／第三国向け同種の貨物の別 | 調査対象貨物、国内向け同種の貨物又は第三国向け同種の貨物の品種及び他の貨物の名称 | 他の貨物の特徴 | その他 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

### 製造工程において、副産物又は廃棄物（リサイクルされる物品を含む。）は発生しますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 発生しない |  | 発生する→E-1-1-5-2 へ |

　　 　↓

#### 発生しない理由を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

→E-1-1-6 へ

#### 発生する全ての副産物及び廃棄物（リサイクルされる物品を含む。）を列記し、当該副産物及び廃棄物について、当該物品が発生する過程、発生する量及び発生率並びに当該物品がどのように取り扱われたのか（製造工程への戻し、リサイクル、販売及び廃棄等）、その扱われる量及びその会計処理について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 欠陥品又は不良品は発生しますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 発生する |  | 発生しない　→　E-1-2 へ |

　　 ↓

#### 欠陥品又は不良品について、当該物品が発生した過程、発生した量及び発生率並びに当該物品がどのように取り扱われたのか（製造工程への戻し、リサイクル、販売及び廃棄等）、その扱われる量及びその会計処理について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

→E-1-2 へ

## 製造設備

### 溶融亜鉛めっき鋼の製造に用いられる設備を全て列記してください。またそれぞれの設備について、当該設備が使用される製造ラインの名称、当該製造設備が使用される工程の箇所並びに当該製造設備の購入先の名称、その所在地、関連企業／非関連企業の別、関連企業である場合の関連の状況について記載してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 製造設備の名称 | 製造ラインの名称 | 製造工程 | 購入先名称 | 所在地 | 関連企業／非関連企業 | 関連の状況（株式保有及び役員派遣の状況等） |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

### 溶融亜鉛めっき鋼の生産に要する電力を含む原材料、経費、製造設備等のうち、自家製造しているものはありますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無　→　E-1-3 へ |

　　 ↓

#### 自家製造している場合、当該自家製造している物品、当該自家製造物品が使用される製造工程の箇所、自家製造物品の原価計算基準を説明するとともに、当該物品を自家製造している場所の名称、所在地、担当部門の名称及び製造工程について説明してください。また、自家製造に係る設備配置図、自家製造を行っている担当部門を含む組織図（職種別人数を含む。）及び自家製造に係る製造工程についてのフローチャートを**添付資料E-1-2-2-1**として提出してください。

|  |
| --- |
|  |

## 財務会計

### 貴社の財務諸表等の作成方法は、貴国（調査対象貨物の輸出国）の「一般に公正妥当と認められる企業会計の基準」に従っていますか。当てはまるものにチェックし、「従っている」と回答した場合には、採用する会計基準（ex. 米国基準、国際会計基準等）を記載してください。また、調査対象期間（2024年1月1日から2024年12月31日まで）において会計基準の変更があった場合には、その旨及び変更した会計期間及び変更内容も回答してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 従っている |  | 従っていない　→　E-1-3-1-1へ |

　　　↓

1. 採用する会計基準

|  |
| --- |
|  |

1. 会計基準の変更の有無

|  |
| --- |
|  |

1. 会計基準を変更した会計期間及び変更内容

| 会計基準を変更した会計期間 | 会計基準の変更内容 |
| --- | --- |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

→E-1-3-2へ

#### 従っていない内容及び理由を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 会計処理基準について以下回答してください。また、各会計基準について調査対象期間（2024年1月1日から2024年12月31日まで）において会計処理基準の変更があった場合には、その旨及び変更した会計期間及び変更内容も回答してください。

#### 棚卸資産の数量の把握方法（例えば、継続記録法、棚卸計算法等）、払出単価の計算方法（例えば、先入先出法、移動平均法等）及び期末評価の方法がどのような方法であるか、説明してください。

|  |
| --- |
|  |

#### 有形固定資産及び無形固定資産について、どのような有形固定資産及び無形固定資産があるか、その減価償却の有無及び減価償却の方法がどのような方法であるか、説明してください。

|  |
| --- |
|  |

#### 繰延資産について、どのような繰延資産があるか、償却方法がどのような方法であるかについて説明してください。

|  |
| --- |
|  |

#### 引当金について、どのような引当金があるか、引当費用の計上額はどのようにして算出するのかについて説明してください。

|  |
| --- |
|  |

#### 外貨建て金銭債権債務について、どのようなものがあるか、どのようにして評価及び換算するのかについて説明してください。

|  |
| --- |
|  |

#### 収益及び費用の認識（計上）基準について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

#### その他、貴社の財務諸表等の作成において重要な事項について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

# 製造原価の概要

## 原価計算方式

### 貴社は、標準原価計算と実際原価計算のどちらを採用していますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | いずれでもない |  | 標準原価計算　→　E-2-1-1-2へ |
| ↓ |  |  | 実際原価計算　→　E-2-1-2へ |

#### 上記E-2-1-1のいずれでもない場合は、その内容について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

→E-2-1-2へ

#### 原価標準の設定区分、改正の頻度と改正された調査対象期間における最新の期日及び改正の内容を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

#### 原価差異（標準原価と実際原価との差異）

##### 原価差異は財務諸表上のどの科目にどのように配賦されているか、説明してください。

|  |
| --- |
|  |

##### 溶融亜鉛めっき鋼のそれぞれについて、どのような原価差異が発生するのか、各原価差異はどの時点で計上されるのか、説明してください。

|  |
| --- |
|  |

##### 計上された原価差異を溶融亜鉛めっき鋼のそれぞれの製品型番及び品種に対して配賦するとした場合に、どのようにして配賦するのか、原価差異の発生内容、配賦の方法及びその根拠について、**様式E-2-1-1-3-3**に記載してください。

### 貴社は、総合原価計算と個別原価計算のどちらを採用していますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  | いずれでもない |  | 総合原価計算　→　E-2-1-2-2へ |
| --- | --- | --- | --- |
| ↓ |  |  | 個別原価計算　→　E-2-1-3へ |

#### 上記E-2-1-2のいずれでもない場合は、その内容について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

→E-2-1-3へ

#### 溶融亜鉛めっき鋼の生産に関して、工程別原価計算の有無について、当てはまるものにチェックしてください。また、工程別原価計算を採用している場合には、各工程名及び各工程における原価計算方法について、次の事項を含めて説明してください。

・形態：同種製品を連続的に生産する形態（等級別）か、異種製品を連続的に生産する形態（組別）か

・計算に用いる原価要素：全ての原価要素か、加工費や間接費等の一部の原価要素か

工程別原価計算の有無

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無　→　E-2-1-3へ |

　　 ↓

|  |  |
| --- | --- |
| 各工程名 | 工程における原価計算方法の説明 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

#### 連産品（同一材料を投入して同一加工を行っているときに生じる複数の製品で、かつ主副の区別が明確にできないもの）はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無　→　E-2-1-3へ |

　　 ↓

#### 連産品がある場合、連産品の原価計算の方法について、連産品、連結原価の内容及び連結原価の配分方法並びに製造工程の該当箇所を含め、説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 貴社は、直接原価計算と全部原価計算のどちらを採用していますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | いずれでもない |  | 直接原価計算 → E-2-1-3-2へ |
| ↓ |  |  | 全部原価計算 → E-2-1-4へ |

#### これらのいずれでもない場合は、その内容について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

→E-2-1-4へ

#### 直接原価計算を採用している場合、固定費調整の方法（ころがし計算法、一括調整法等）の内容を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 貨物の製品型番及び品種ごとに原価計算は異なるか否か、異なる場合にどのような理由でどのように異なるのかについて説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 顧客の製品仕様の違いによって同じ製品型番及び品種であっても製造コストに差が出ますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 差が出た |  | 差は出なかった→　E-2-1-6へ |

　↓

#### どのように差が出たのか、当該差はどの程度であったかについて、具体的に説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 売上原価の計上までの流れ

基幹システムに製造原価が計上されてから会計システムに売上原価が計上されるまでの流れをフローチャート形式で回答し、**添付資料E-2-1-6**として提出してください。

## 原材料費

### 貴社が投入した全ての原材料について、**様式E-2-2-1-①**に原材料の名称、購入数量、購入金額を記載するとともに、主要な原材料につき、**様式E-2-2-1-②**に原価計算上の区分、購入先名称、関連企業／非関連企業の別、関連の状況、購入数量、購入単価及び購入額を記載してください。なお、主要な原材料以外は「その他」に記載してください。

### 上記E-2-2-1 のうち購入先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（原材料の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについて**添付資料E-2-2-2-①**として提出してください（日本語訳を添付）。また、比較する非関連企業との取引がなかった場合には、当該関連企業において当該原材料を貴社に販売するために要した全ての原価に適正な利潤を加えたものについて算出し、ワークシート及び根拠となる書類の写しを**添付資料E-2-2-2-②**として提出してください（日本語訳を添付）。

### 電力費 溶融亜鉛めっき鋼を生産するための電力について、買電か自家発電か、当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 買電 |  | 自家発電→　E-1-2-2において回答したのち、E-2-3へ |

　　　　↓

#### 買電の場合に買電先について回答してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 関連企業／  非関連企業 | 買電先名称 | 買電量  (kWh) | 買電金額  （通貨単位：　） | 買電単価 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

### 自家製造

自家製造している原材料がある場合にはE-1-2-2の質問に回答してください。

## 労務費

### 溶融亜鉛めっき鋼について、生産に要した全ての人員の職種、総人員数、職能別時間給、総作業時間、労務費を**様式E-2-3-1**に記載してください。なお、仕向け地（日本向け、国内向け、第三国向け）が異なることにより労務費が異なる場合には、**様式E-2-3-1**を分けて回答し、異なる理由と共に、労務費の按分方法を併せて回答してください。

### 全ての追加的給付を列記してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 追　加　的　給　付 | | |
| 調査対象貨物 | 国内向け同種の貨物 | 第三国向け同種の貨物 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

### 直接労務費及び間接労務費に関して、それぞれ、当該費用の対価である労働者の業務の内容を説明してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 労務費項目 | 業務の内容 |
| 直接労務費 |  |
| 間接労務費 |  |

### 溶融亜鉛めっき鋼の生産に要した従業員賃金及び追加的給付は、政府又はその他の機構によって設定され又は影響を受けるものであったかどうかについて説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 溶融亜鉛めっき鋼の製造工程及び製品完成後において行われた品質管理について、品質管理の方針、方法、人数、計測データを含め、説明してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ①製造工程において行われる品質管理 | |
| 品質管理の方針 |  |
| 方法 |  |
| 人数 |  |
| 計測データ |  |

|  |  |
| --- | --- |
| ②製品完成後において行われる品質管理 | |
| 品質管理の方針 |  |
| 方法 |  |
| 人数 |  |
| 計測データ |  |

## 経費

### 溶融亜鉛めっき鋼の生産に要した全ての経費について、経費の種類、直接経費・間接経費の区分、計上金額を**様式E-2-4-1**に記載してください。なお、仕向け地（日本向け、国内向け、第三国向け）が異なることにより経費が異なる場合には、**様式E-2-4-1**を分けて回答し、異なる理由と共に、経費の按分方法を併せて回答してください。

### 外注費 溶融亜鉛めっき鋼の生産に当たり、その製造工程の一部又は全部を外注により行っていた場合、その外注先が関連企業であったか否か、外注先名称、外注した工程の内容及び目的、加工対象物品の無償支給・有償支給の別、支給品の特徴、加工後の物品の特徴並びに計上金額について、**様式E-2-4-2**に説明してください。

### 電力費（E-2-2-3を除く） 溶融亜鉛めっき鋼の生産部門を稼働させるために使用される電力（E-2-2-3を除く）について、買電か自家発電か、当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 買電 |  | 自家発電→　E-1-2-2において回答したのち、E-2-4-4へ |

　　　　↓

#### 買電の場合に買電先について回答してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 関連企業／  非関連企業 | 買電先名称 | 買電量  (kWh) | 買電金額  （通貨単位：　） | 買電単価 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

### 燃料費 溶融亜鉛めっき鋼の生産部門を稼働させるために使用された燃料について、回答してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 燃料の種類（ガス等） | 関連企業／  非関連企業 | 購入先名称 | 購入量  (単位：　　) | 購入金額  （通貨単位：　） | 購入単価 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

### 減価償却費

#### 溶融亜鉛めっき鋼の生産に使用された全ての設備（工場建屋及び資産計上されたリース資産を含む。）の名称及び財務諸表上の勘定科目、資産管理番号（社内管理番号）、計上日、取得価額、償却率、耐用年数、減価償却の方法、どの品種を生産する設備に係るものであったかを**様式E-2-4-5-1**に記載してください。また複数の品種を生産するための設備に係る減価償却費については、個々の製品への按分方法を説明してください。

### 溶融亜鉛めっき鋼の生産に使用された有形固定資産の修理、改良等のために支出した金額のうち、当該有形固定資産の価値を高め、又はその耐久性を増すこととなると認められる部分に対応する金額について資本的支出としたものはありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無→E-2-4-7へ |

　↓

#### 資本的支出の区分（価額の増加、耐用年数の延長等）、どの有形固定資産に対するものであったか、財務諸表上の勘定科目、資産管理番号（社内管理番号）、計上日、計上額、計上額の算出方法、延長された耐用年数並びに当該計上した資本的支出はどの品種を生産する設備に係るものであったかを**様式E-2-4-6-1**に記載してください。

#### 当該資本的支出について、内容（改造、改装、部品取替え等）、どの有形固定資産に対するものであったか、資産管理番号（社内管理番号）、耐用年数、償却率及び減価償却の方法並びに調査対象期間における償却額を**様式E-2-4-6-2**に記載してください。

### 修繕費 溶融亜鉛めっき鋼の生産に使用された有形固定資産に対する修繕費について、修繕の内容、修繕の対象となった有形固定資産の名称、資産管理番号（社内管理番号）、費用の額、どの品種を生産する設備に係るものであったかを説明してください。また、複数の品種を生産するための設備に係るものであった場合には、当該修繕費を個々の製品へ按分する方法を**様式E-2-4-7**に記載してください。

### 賃借料（リース料）（E-2-4-5-1のリース資産を除く） 溶融亜鉛めっき鋼の生産に使用された有形固定資産の賃借料（リース料）について、リース物件の名称及び契約日、契約期間、リース料（リース料総額、毎月支払額）、その他の契約内容、当該リース物件に係る会計処理並びにどの品種を生産するための設備に係るリース契約であるか、について**様式E-2-4-8**に記載してください。また、複数の品種を生産するための設備に係るものであった場合には、当該リース料を個々の製品へ按分する方法も記載してください。

### 研究開発費

#### 溶融亜鉛めっき鋼に関する研究開発、製品設計及びエンジニアリングについて、研究開発施設、研究者数、研究開発の時期及び内容を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

#### 2024年1月1日から2024年12月31日までに販売された溶融亜鉛めっき鋼に関して、その発生時期を問わず、研究開発費用が調査対象貨物等の生産に関連していましたか（例えば、研究開発目的の機械装置等を調査対象貨物等の生産に使用していた場合も含む。）。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 関連していた |  | 関連していなかった　→　E-2-4-10へ |

　↓

#### どの品種に係るものか、当該研究開発の時期及び内容、費用の額並びに当該研究開発費用の会計処理について**様式E-2-4-9-3**に記載してください。

### 自家製造

自家製造している経費がある場合には、E-1-2-2の質問に回答してください。

## ヘッジ取引の有無

### 貴社は、原材料等の購入価格変動リスクを回避・低減する目的で、ヘッジ取引を行っていますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 行っている |  | 行っていない　→　E-3へ |

↓

#### ヘッジ取引について説明してください。なお、任意の取引1件について、当該ヘッジ取引についての契約書、原材料の購入価格とヘッジ手段による決済額についての根拠書類等（請求書、差額清算書等）の写し及びそれら根拠書類の写しによりリスクヘッジの金額等を具体的に説明した書類を**添付資料E-2-5-1-1**として提出してください（日本語訳を添付）。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ヘッジ対象となった原材料等の名称 | ヘッジ対象となった原材料等の価格変動リスクの内容 | ヘッジ手段（商品先物、先渡、スワップ、オプション取引等） | ヘッジ手段の内容（商品の受渡し、決済の方法等） | ヘッジ取引により固定化した価格（単価） |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

#### 上記E-2-5-1のヘッジ取引に対する会計処理について説明してください。なお、上記E-2-5-1のヘッジ取引に対応する仕訳伝票等の根拠書類の写し及びそれらヘッジ取引に係る根拠書類と会計処理に係る根拠書類の対応関係等を具体的に説明した書類を**添付資料E-2-5-1-2**として提出してください（日本語訳を添付）。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ヘッジ対象となった原材料等の名称 | ヘッジ手段 | ヘッジ会計の適用の有無 | ヘッジ会計方法（繰延ヘッジ、時価ヘッジ等） | 原価計算において、原材料等の価格はヘッジ後の固定化した価格か否か | ヘッジ手段による決済額はどの勘定科目に計上され、原価計算上どのように扱われたか |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

# 製造原価・費用

## 溶融亜鉛めっき鋼の原価・費用

### 「a期首仕掛品」から「kその他の費用」までの各費用項目について、貴社の財務会計システム及び原価計算システム上の勘定名・勘定コードを**様式E**の(1)に回答してください。なお、同一費用項目で勘定が複数ある場合には、列を追加して、該当費用項目の名称の後ろに連番を付してください。

### 調査対象期間（2024年1月1日から2024年12月31日）の溶融亜鉛めっき鋼の原価・費用について、（品種により区分される場合には品種ごとに）下記（記載要領 様式E(2)原価・費用）に従い、**様式E**の(2)に記入してください。また、**様式E**の(2)を記入するにあたり、梱包費用は含まれません。除いた梱包費用がある場合は、貴社の原価計算システムから出力した製造工程別品種別の梱包費用明細資料を**添付資料E-3-1-2**として提出してください。

　なお、品種が同一にもかかわらず、仕向け地（日本向け、国内向け、第三国向け）により、原価・費用が異なる場合には、その理由を回答するとともに、**様式E**の(2)の行を分けて、それぞれ原価・費用を回答してください。

|  |
| --- |
| （品種が同一にもかかわらず原価・費用が異なる理由） |

(記載要領 様式E(2)原価・費用)

| 項目名 | 記載要領 |
| --- | --- |
| 調査対象貨物の品種コード①（製品の形状） | 当該品種の形状を以下の区分により記入  01：鋼帯（02以外のもの）  02：鋼帯（切断し幅を調整したもの）  03：鋼板（長方形（正方形を含む。）のもの）  04：鋼板（03以外のもの） |
| 調査対象貨物の品種コード②（エッジの状態） | 当該品種のエッジの状態を以下の区分により記入  01：ミルエッジ  02：カットエッジ（スリットエッジ） |
| 調査対象貨物の品種コード③（原板の圧延方法） | 当該品種の原板の圧延方法を以下の区分により記入  01：熱間圧延  02：冷間圧延 |
| 調査対象貨物の品種コード④（原板の厚み） | 当該品種の原板の厚みを以下の区分により記入  01：0.27mm未満  02：0.27mm以上0.30mm未満  03：0.30mm以上0.40mm未満  04：0.40mm以上0.50mm未満  05：0.50mm以上0.60mm未満  06：0.60mm以上0.70mm未満  07：0.70mm以上0.80mm未満  08：0.80mm以上0.90mm未満  09：0.90mm以上1.00mm未満  10：1.00mm以上1.10mm未満  11：1.10mm以上1.20mm未満  12：1.20mm以上1.30mm未満  13：1.30mm以上1.40mm未満  14：1.40mm以上1.50mm未満  15：1.50mm以上1.60mm未満  16：1.60mm以上1.70mm未満  17：1.70mm以上1.80mm未満  18：1.80mm以上1.90mm未満  19：1.90mm以上2.00mm未満  20：2.00mm以上2.10mm未満  21：2.10mm以上2.20mm未満  22：2.20mm以上2.30mm未満  23：2.30mm以上2.80mm未満  24：2.80mm以上3.20mm未満  25：3.20mm以上4.00mm未満  26：4.00mm以上4.50mm未満  27：4.50mm以上5.00mm未満  28：5.00mm以上6.00mm未満  29：6.00mm以上 |
| 調査対象貨物の品種コード⑤（原板の幅） | 当該品種の原板の幅を以下の区分により記入  01：610mm未満  02：610mm以上762mm未満  03：762mm以上914mm未満  04：914mm以上1219mm未満  05：1219mm以上1524mm未満  06：1524mm以上1829mm未満  07：1829mm以上 |
| 調査対象貨物の品種コード⑥（原板の炭素、マンガン、リン、硫黄の含有割合） | 当該品種の原板の炭素、マンガン、リン、硫黄の含有割合を以下の区分により記入（表：品種コード⑥原板の化学成分ⅰ参照）  01：A  02：B  03：C  04：D  05：E  06：F  07：G  08：H  09：I  10：J  11：その他  ※11がある場合は、具体的な原板の炭素、マンガン、リン、硫黄の含有割合を記載し、根拠となる資料を**添付資料E-3-1-2-⑥**として提出してください。 |
| 調査対象貨物の品種コード⑦（原板のチタンの含有割合） | 当該品種の原板のチタンの含有割合を以下の区分により記入  01：0.05%未満  02：0.05%以上0.1%未満  03：0.1%以上  ※03がある場合は、具体的な原板のチタンの含有割合を記載し、根拠となる資料を**添付資料E-3-1-2-⑦**として提出してください。 |
| 調査対象貨物の品種コード⑧（原板のホウ素の含有割合） | 当該品種の原板のホウ素の含有割合を以下の区分により記入  01：0.0008%未満  02：0.0008%以上0.0041%未満  03：0.0041%以上0.1%未満  04：0.1%以上  ※04がある場合は、具体的な原板のホウ素の含有割合を記載し、根拠となる資料を**添付資料E-3-1-2-⑧**として提出してください。 |
| 調査対象貨物の品種コード⑨（めっき付着量（両面の合計）） | 当該品種のめっき付着量（両面の合計）を以下の区分により記入（表：品種コード⑨　めっき付着量（両面の合計）参照）  01：Z06  02：Z08  03：Z10  04：Z12  05：Z14  06：Z18  07：Z20  08：Z22  09：Z25  10：Z27  11：Z35  12：Z37  13：Z45  14：Z60  15：その他  ※15がある場合は、具体的なめっき付着量を記載し、根拠となる資料を**添付資料E-3-1-2-⑨**として提出してください。 |
| 調査対象貨物の品種コード⑩（めっき層の成分） | 当該品種のめっき層の成分を以下の区分により記入  01：亜鉛以外の元素の含有割合がいずれも1.0％以下  02：亜鉛以外の元素のうち少なくとも一つは含有割合が1.0％を超える  ※02がある場合は、含有割合が1.0％を超える具体的な元素の種類と割合を記載し、根拠となる資料を**添付資料E-3-1-2-⑩**として提出してください。 |
| 品種コード⑪（化成処理） | 当該品種の化成処理を以下の区分により記入  01：クロメートフリー処理  02：クロメート処理  03：リン酸塩処理  04：無処理  05：その他  ※05がある場合は、具体的な化成処理方法について記載し、根拠となる資料（化成処理方法についての詳細を示す資料等）を**添付資料E-3-1-2-⑪**として提出してください。 |
| 品種コード⑫（塗油） | 当該品種の塗油を以下の区分により記入  01：塗油  02；無塗油 |
| a期首仕掛品 | 期首仕掛品の残高をKRW又はCNYで回答してください。 |
| b当期製造費用 直接材料費 | 直接材料費をKRW又はCNYで回答してください。 |
| c当期製造費用 直接労務費 | 直接労務費をKRW又はCNYで回答してください。 |
| d当期製造費用-直接経費 | 直接経費をKRW又はCNYで回答してください。 |
| e当期製造費用 製造間接費 | 製造間接費をKRW又はCNYで回答してください。 |
| f期末仕掛品 | 期末仕掛品をKRW又はCNYで回答してください。 |
| g製造原価（cost of manufacturing；COM） | 「a期首仕掛品」から「f期末仕掛品」の合計値（g=a+b+c+d+e-f）をKRW又はCNYで回答してください。 |
| h間接販売費 | 間接販売費をKRW又はCNYで回答してください。 |
| i一般管理費 | 一般管理費をKRW又はCNYで回答してください。 |
| j金融費用 | 金融費用をKRW又はCNYで回答してください。 |
| kその他の費用 | その他の費用（製造原価、間接販売費、一般管理費、金融費用以外の費用で、例えば、溶融亜鉛めっき鋼の製造に関する残渣処理費用等）をKRW又はCNYで回答してください。 |
| l生産費用（cost of production；COP） | 「g製造原価（COM）」から「kその他の費用」の合計値（l=g+h+i+j+k）をKRW又はCNYで回答してください。 |
| 期首在庫数量（kg） | 調査対象期間中の期首在庫数量をkgで回答してください。 |
| 完成品数量（kg） | 調査対象期間中の生産量（完成品数量）をkgで回答してください。 |
| 期中販売数量（kg） | 調査対象期間中の期中販売数量をkgで回答してください。 |
| 期中自家消費等数量（kg） | 調査対象期間中の期中自家消費等数量をkgで回答してください。 |
| 期末在庫数量（kg） | 調査対象期間中の期末在庫数量をkgで回答してください。 |

（注）**様式E**の(2)「調査対象貨物の品種コード⑥（原板の炭素、マンガン、リン、硫黄の含有割合）」及び「調査対象貨物の品種コード⑨（めっき付着量（両面の合計））」を回答する際は、下記表を参照ください。

表：品種コード⑥　原板の化学成分ⅰ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位　％

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 炭素（C） | マンガン（Mn） | リン（P） | 硫黄（S） |
| 01：A | 0.06以下 | 0.45以下 | 0.03以下 | 0.03以下 |
| 02：B | 0.08以下 | 0.45以下 | 0.03以下 | 0.03以下 |
| 03：C | 0.10以下 | 0.45以下 | 0.03以下 | 0.03以下 |
| 04：D | 0.12以下 | 0.60以下 | 0.04以下 | 0.04以下 |
| 05：E | 0.15以下 | 0.80以下 | 0.05以下 | 0.05以下 |
| 06：F | 0.18以下 | 1.20以下 | 0.08以下 | 0.05以下 |
| 07：G | 0.25以下 | 1.70以下 | 0.20以下 | 0.05以下 |
| 08：H | 0.25以下 | 2.00以下 | 0.20以下 | 0.05以下 |
| 09：I | 0.30以下 | 2.00以下 | 0.20以下 | 0.05以下 |
| 10：J | 0.30以下 | 2.50以下 | 0.20以下 | 0.05以下 |

表：品種コード⑨　めっき付着量（両面の合計）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位　g/m2

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ３点平均最小付着量 | １点最小付着量 |
| 01：Z06 | 60以上80未満 | 51以上68未満 |
| 02：Z08 | 80以上100未満 | 68以上85未満 |
| 03：Z10 | 100以上120未満 | 85以上102未満 |
| 04：Z12 | 120以上140未満 | 102以上119未満 |
| 05：Z14 | 140以上180未満 | 119以上153未満 |
| 06：Z18 | 180以上200未満 | 153以上170未満 |
| 07：Z20 | 200以上220未満 | 170以上187未満 |
| 08：Z22 | 220以上250未満 | 187以上213未満 |
| 09：Z25 | 250以上275未満 | 213以上234未満 |
| 10：Z27 | 275以上350未満 | 234以上298未満 |
| 11：Z35 | 350以上370未満 | 298以上315未満 |
| 12：Z37 | 370以上450未満 | 315以上383未満 |
| 13：Z45 | 450以上600未満 | 383以上510未満 |
| 14：Z60 | 600以上 | 510以上 |

※３点平均最小付着量は、調査対象貨物から採取した３個の試験片の測定値の平均値を表し、１点最小付着量は、平均値を求めた３個の試験片の測定値のうち最小の値を表している。

## **様式E**の各費用項目と監査済財務諸表等とのつながり（Cost Reconciliation）

**様式E**に回答した各費用項目の数値と、貴社の監査済財務諸表、財務会計システム及び原価計算システムとのつながりについて、下記のSTEP1からSTEP4の順に、回答してください。下記のSTEP1からSTEP4の記載内容はあくまで例示であり、貴社のシステム等を通して、**様式E**に回答した各費用項目の数値が、財務諸表の数値までどのようにつながるのか、各システム等の数値を用いながら、説明してください。

### 監査済財務諸表と財務会計システムから出力される試算表（trial balance；T/B）とのつながり（STEP1）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| STEP1 | 調査対象期間（※１） 監査済財務諸表 売上原価（cost of goods sold；COGS） | → | 調査対象期間（※１） 財務会計システム（試算表（T/B）） 売上原価（COGS） |
|

※１：会計年度が暦年であり、調査対象期間が異なる場合には、「監査済財務諸表（暦年）」から「財務会計システム（試算表（T/B））売上原価（COGS）（暦年）」へつなげ、その後、「財務会計システム（試算表（T/B））売上原価（COGS）（暦年）」から「調査対象期間の財務会計システム（試算表（T/B））売上原価（COGS）」へとつなげてください。

貴社の監査済財務諸表上の売上原価（COGS）と貴社の財務会計システムから出力される試算表（T/B）上の売上原価（COGS）のつながりを説明した資料を作成し、その根拠となる書類の写しとともに、**添付資料E-3-2-1**として提出してください（日本語訳を添付）。

1. 説明には、調査対象期間の監査済財務諸表における売上原価から、監査人指摘事項等を足し引きして、調査対象期間の試算表（T/B）上の売上原価につながることが分かるように、記載してください。
2. 根拠となる書類には、財務会計システムから出力された試算表（T/B）（売上原価だけではなく売上から純利益まで全てが記載されたもの）、財務会計システムで試算表（T/B）を出力する際の画面キャプチャ、足し引きした監査人指摘事項等の内容が分かる資料を含め、提出してください。

### 財務会計システム上の売上原価（COGS）と製造原価（COM）とのつながり（STEP2）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| STEP2 | 調査対象期間 財務会計システム 売上原価（COGS） | → | 調査対象期間 財務会計システム 製造原価（COM） |
|

調査対象期間における財務会計システム上の売上原価（COGS）と財務会計システム上の製造原価（COM）とのつながりを説明した資料を作成し、その根拠となる書類の写しとともに、**添付資料E-3-2-2**として提出してください（日本語訳を添付）。

説明には、調査対象期間における財務会計システム上の売上原価（COGS）から、期首の製品在庫・商品在庫、期末の製品在庫・商品在庫等を足し引きして、財務会計システム上の製造原価（COM）につながることが分かるように、記載してください。

### 財務会計システム上の製造原価（COM）と原価計算システム上の製造原価（COM）とのつながり（STEP3）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| STEP3 | 調査対象期間 財務会計システム 製造原価（COM） | → | 調査対象期間 原価計算システム 製造原価（COM） |

調査対象期間における財務会計システム上の製造原価（COM）と原価計算システム上の製造原価（COM）とのつながりを説明した資料を、その根拠となる書類の写しとともに、**添付資料E-3-2-3**として提出してください（日本語訳を添付）。その説明には、以下の①及び②の内容についても記載してください。

1. 調査対象期間における財務会計システムの製造原価（COM）と原価計算システムの製造原価（COM）が同期できているかを貴社のシステムで確認する方法（（１）合計額ベース、（２）個別取引ベース、（３）その他の方法、のうち該当するもの全て）について、下記の【回答方法（ⅰ）】及び【回答方法（ⅱ）】に従い、説明してください。

【回答方法（ⅰ）】（（１）合計額ベースの場合）

調査対象期間における財務会計システム上の製造原価の合計と、調査対象期間における原価計算システムにおける製造原価の合計が一致していることを財務会計システム・原価計算システムそれぞれのシステムの画面キャプチャを用いて説明してください。

【回答方法（ⅱ）】（（２）個別取引ベースの場合）

財務会計システムの製造原価明細の管理単位（製造指図書ごと、月単位、型番単位等）、原価計算システム上の製造原価明細の管理単位（製造指図書ごと、月単位、型番単位等）を明らかにした上で、財務会計システム・原価計算システム間で個別に参照の相手が認識できる管理番号（社内管理番号、〇〇伝票番号等）を回答した上で、財務会計システム・原価計算システムの製造原価明細を用いて説明してください。

1. 財務会計システムと原価計算システムでデータの同期がとられる際に差異が生じる場合には、その差異についての内容を説明した上で、差異の明細が分かる資料を提出してください。

### 原価計算システム上の全社の製造原価（COM）と**様式E**に回答した溶融亜鉛めっき鋼単体の製造原価（COM）とのつながり（STEP4）

#### 溶融亜鉛めっき鋼と溶融亜鉛めっき鋼以外の貨物の区別方法

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| STEP4 | 調査対象期間 原価計算システム 製造原価（COM）（全社） | → | 調査対象期間 原価計算システム製造原価（COM）（溶融亜鉛めっき鋼単体） |
|

調査対象期間における原価計算システム上の全社の製造原価（COM）と、**様式E**に回答した溶融亜鉛めっき鋼単体の製造原価（COM）とのつながりが確認できるように、以下の回答例を参考に、溶融亜鉛めっき鋼と溶融亜鉛めっき鋼以外の貨物の区分方法を説明した資料を作成し、その根拠となる書類の写しとともに、**添付資料E-3-2-4-1**として提出してください（日本語訳を添付）。

【回答例①】（管理区分が区別されている場合）

部門により製造ライン・原価計算区分が完全に別管理されている場合。例えば、A部門では溶融亜鉛めっき鋼のみを製造しており、B部門では溶融亜鉛めっき鋼以外の貨物のみ製造しているので、溶融亜鉛めっき鋼の製造原価を抽出する際に、A部門のみに絞って抽出した。根拠となる書類として、一部門に絞って製造原価を抽出する際の原価計算システムの画面キャプチャを含め提出します。

【回答例②】（製品型番等で区分している場合）

製造原価明細の製品型番の型番コード列により区分可能な場合。例えば、「型番コードのナンバリングシステム」の「型番コード①商品大分類」により溶融亜鉛めっき鋼貨物かそれ以外の貨物かを区分することができる。

【型番コードのナンバリングシステム（回答例）】



#### 品種コード別の製造原価（COM）の区分方法

**様式E**に回答した各費用項目について、溶融亜鉛めっき鋼単体の製造原価（COM）から区分した方法を説明した資料を作成し、その根拠となる書類の写しとともに、**添付資料E-3-2-4-2**として提出してください（日本語訳を添付）。

根拠となる資料には、品種コード別に区分して各費用項目を計算する際に作成したワークシートを含めて提出してください。

## **様式E**の完成品重量と生産管理システム等とのつながり（Reconciliation）

**様式E**に回答した完成品重量と生産管理システム等とのつながりについて、下記のSTEP1からSTEP2の順に、回答してください。下記のSTEP1からSTEP2の記載内容はあくまで例示であり、貴社のシステム等を通して、**様式E**に回答した完成品重量が、生産管理システム等の数値までどのようにつながるのか、各システム等の数値を用いながら、説明してください。

### 生産管理システム等の完成品重量と原価計算システム上の完成品重量とのつながり（STEP1）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| STEP1 | 調査対象期間 生産管理システム等（重量の情報源） 完成品重量（溶融亜鉛めっき鋼） | → | 調査対象期間 原価計算システム 完成品重量（溶融亜鉛めっき鋼） |

**様式E**の完成品重量の情報源になるシステム（例えば生産管理システム）と原価計算システム上の完成品重量のつながりを説明した資料を、以下の回答例を参考に作成し、その根拠となる書類の写しとともに、**添付資料E-3-3-1**として提出してください。（日本語訳を添付）

　説明には、製造現場での発行書類（生産報告書等、社内での具体的な発行書類の名称も回答してください。）、またはシステムに入力される完成品重量を含む生産に関する情報（生産記録等、社内での具体的な情報源の名称も回答してください。）が、生産管理システム・原価計算システムにどうのように反映されているのか記載してください。

【回答例】

製品完成時点（製品の完成時点は、梱包完了時点です）計量器で重量を量り、梱包資材の重量（一律〇〇kg）を差し引いた重量を生産管理システムに担当者が入力する。計量は、梱包の都度行う。

### 原価計算システム上の完成品重量と様式Ｅに回答した完成品重量とのつながり（STEP2）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| STEP2 | 調査対象期間 原価計算システム 完成品重量（溶融亜鉛めっき鋼） | → | 調査対象期間 完成品重量 完成品重量（溶融亜鉛めっき鋼） |

原価計算システム上の完成品重量と**様式E**に回答した完成品重量の合計とのつながり、及び品種コード別に区分した方法を説明した資料を作成し、その根拠となる書類の写しとともに、**添付資料E-3-3-2**として提出してください（日本語訳を添付）。

根拠となる資料には、品種コード別に区分して完成品重量を計算する際に作成したワークシートや原価計算システムから抽出する際の画面キャプチャを含めて提出してください。

## 貨物の種別ごとの主要原材料の明細 　調査対象貨物、国内向け同種の貨物及び第三国向け同種の貨物ごとに、その生産に用いられた主要原材料について、その購入の明細を、**様式E-3-4**に記入してください。

　なお、調査対象貨物に係る回答については、**様式E**(2)原価・費用に記入した直接材料費のうち、直接材料費の合計額に対する割合が最も高い原材料に関する会計書類等（購入先からの納品書、原材料受払表、原材料補助元帳等及びその会計処理の内容を示す仕訳伝票等）の写し、並びに費用の内容についての説明を**添付資料E-3-4**として提出してください（日本語訳を添付）。

# 単位当たりの投入量

## 貴社が調査対象貨物を生産するために必要な原材料費、労務費、経費等の理論原単位当たり投入量（標準的な投入量）を製品型番及び品種ごとに**様式E-4-1**に記入し、その根拠となる資料を**添付資料E-4-1**として提出してください（日本語訳を添付）。

## 貴社が生産した調査対象貨物を1kg生産するために必要な原材料、労務費、経費等の投入量について、その単位を明示して、製品型番コード及び品種ごとに**様式E-4-2**に記入してください。なお、**様式E-4-2**中の「直接材料費」に記入した原材料のうち、価格割合の最も高いものに関する数値計算等に当たって作成したワークシート（**様式E-4-2**の各数値と根拠となる会計書類等の数値とが、どのようにして対応するかについての説明を含む。）及び根拠となる会計書類等（原材料受払表、原材料補助元帳等及びその会計処理の内容を示す仕訳伝票等を含む）の写し並びに投入数量の内容についての説明を**添付資料E-4-2**として提出してください（日本語訳を添付）。